

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 10 15	中期総合計画主要施策番号	3-03	担当課	部・課	健康福祉部 こども・家庭課	
事業名	小児長期入院児等支援事業				内 線	2362	
					E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H22 ~ H24	根拠法令等	長野県周産期医療体制整備計画				
実施方法	県が直接実施及び委託（長野県立病院機構こども病院）					国庫・県単	国庫補助事業

  

事業の概要等	目的（必要性）	NICU等への長期入院児の適切な療養・療育環境への移行に向けた支援を行う。				
	対 象	NICU等への長期入院児（1年以上）及び保護者				
	目指すべき姿	NICU等から移行可能となった重症心身障害児等が在宅療養や重症心身障害児施設へ移行できる。				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児長期入院児等支援対策協議会</li> <li>・小児長期入院児等支援コーディネーターの配置（長野県立こども病院へ委託）</li> <li>・地域小児長期入院児等支援連絡会の設置（事務局：保健福祉事務所）</li> <li>・関係者へのスキルアップ研修</li> </ul>				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度（当初）	23年度事業費の主な内訳 ・報償費：331千円 ・旅費：85千円等 ・委託料：5,266千円（委託先 長野県立こども病院）
	最終予算額（A）		千円	6,114	6,282	6,269	
	決 算 額（B）		千円	5,866	5,708		
	B（H24はA）のうち一般財源		千円	3,065	3,275	4,014	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.45	0.45	0.45	
	概算人件費（C）		千円	3,763	3,716	3,716	
概算事業費（B（H24はA）+ C）		千円	9,629	9,424	9,985		

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度（見込）	左記以外のH23年度実績 ・NPO法人e-mado net 病気の子どもの総合ケアネットと連携して研修会を実施した。  （効率指標 算出式） 概算事業費 / 当該年度減少入院児数（死亡児除く。）
	長期入院児数（1年以上）（成）	人	19	19	17	
	地域小児長期入院児等支援連絡会（準備会含む） 立上げ保健福祉事務所数（活）	か所	8	9	10	
	研修会の開催数（活）	回	1	6	5	
	<効率指標（単位当たりコスト等）>	千円/人	1,605	1,880	1,248	

  

事業の成果	事業の目標（H23）			事業成果・評価		評価区分  <b>b</b> 期待どおり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児長期入院児等支援対策協議会の実施（2回）</li> <li>・市町村へ重症児が対象となる福祉サービスについて調査</li> <li>・重症児に関する医療的ケアマニュアルの作成</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児長期入院児等支援対策協議会を2回開催し、課題の検討等を行った。</li> <li>・市町村における福祉サービスを調査し、とりまとめた。</li> <li>・重症児に関する医療的ケアマニュアルの一覧表を作成した。24年度関係機関へ紹介する予定。</li> </ul>		

  

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・引き続き重症児に対する支援体制の強化が求められておりニーズは高い。 ・24年度で当事業が終了予定であるが、県下全域での支援体制を整えるために、各圏域での支援会議は継続していく必要がある。 ・24年度は、長期入院児等支援コーディネーター事業が終了後、長期入院児のいる医療機関、地域の関係機関等が役割を認識し移行支援ができるための体制づくりを行う。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善（有効性・効率性）の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析（今後の課題、取組方針等）	・24年度は事業終了後を見据え、医療機関や地域の相談窓口を明確化及び、医療機関、市町村、保健福祉事務所等が連携し、重症児の入院中早期から保護者への移行支援を開始する体制づくりを行う。				
	特記事項	平成22年度から24年度までのサンセット事業				